

働こう障害者も 働けるんだオレたちも

# こぶしだより

1996年3月1日(金)

発行 第189号

こぶし作業所  
宇都宮市柳田町1401  
☎0286(62)1911

## 第15回こぶしまつり

関東地方に大雪注意報が出された2月18日(日)、雪のちがつく中、第15回こぶしまつりが行なわれました。

数日前は小春日和の様な暖かい日が続いていてこれなら今年はず年以上の出が有るぞうだと喜んでいたのでありますが、そんな想いを見事裏切る朝からの雪。でもSLボランティアさんの「雪かきしてあげれば大丈夫、走れますよ」のお声に担当者の腹も決り、あわただしく準備がはじまりました。



(5人編成)のハードで軽快な演奏を心ゆくまで楽しみました。一方模擬店では20余名のボランティアさんが大活躍でした。今年初めてとりくんだ焼きとりは産直野菜と合わせ屋外テントでの開店となり担当した方々には本当に寒い中ご苦労さまでした。SLも昨年より少し距離を短くし運行されました。室内では家族の皆さんから寄せられた記念の品や心のこもった作品の数々が展示されました。



仲間と家族だけだったら、と内心心配していましたが、開会間近になると続々人が集まってきました。いよいよ10時、おなじみ宇都宮センター合唱団の和太鼓。八丈太鼓。でオープニング。うたう会、シルバー大学OBボランティアの方々の大正琴演奏仲間の元気なまつりの歌声、そして本邦初公開男性指導員3人による無言劇、その扮装と見事な芝居に会場は爆笑の渦となりました。そして午前の部最後は、ホンダ労組女性バンド「ジョーンズ」



のみなさん、お忙しいなか模擬店に出店していただいたこぶし・けやき各保護者会の皆さん本当にありがとうございます。そしてこのまつりの準備を通して、新たに清陵高校の先生とお話しする機会を得、今後のつながりを確認することができたことも、ひとつの前進であったと思います。このまつりも今年で15回という節目を迎えました。また来年から新たな気持ちでとりくみたいと思います。

(鈴木)

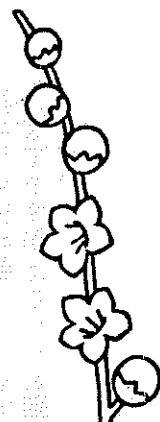


今年も年に一度のこのおまつりを心待ちにしている地域の老人会の皆さんも揃ってご参加下さり、心なごむ楽しいひと時を過ごす事ができました。

改めまして、足をお運び下さったみなさん、佐野・足利結城の方からはるるの応援にかけつけまつりを支えて下さったボランティアの皆さん、事前の打ち合わせに当日の要員にお力添え下さったホンダ労組のみなさん、そして、まつりを盛り上げていただいた出演者の皆さん、寒い中日中外でSLを走らせて下さったみなさん、産直野菜を提供して下さいました産直センター

## みんなで大地96・2

日曜のテレビでベトナム障害児の実態報道番組を見て娘と釘付けになってしまった。横には寝たきりで痴呆もすすんでいる母がいた。ベトナム戦争時、アメリカ軍は密林にまぎれて戦う北ベトナムの兵士をベトナムと決めつけ、枯れ葉剤を散布し根絶やし作戦にでた。結局米軍はベトナムから撤退していくのだが、枯れ葉剤(猛毒ダイオキシンを大量に含む)の後遺症とみられる障害児を大量に生み出した。こうしたベトナムの惨状はかつて毎日新聞社で詳しく報道してきたところだが、娘にはショックが強すぎると思



に精神的に体力が付く中学生になつてから教えてやるのかと考えていたが図らずも突然に彼女の眼前に現われてしまった。ベトナムドクちゃん

は関係者の努力でマスコミでもよく取り上げられるようになってきたが、次から次と続く衝撃的な障害児の姿に娘は声をなくした。手がない、足がない、頭部が半分えぐり取られたような小頭症の子、こけしのようになってしまった双子の障害児に父親が食事をとらせているがその口に歯はない。母親は毎日悲しい日

でいつも自殺しようと考えていると話す。人を不幸のどん底におとしめることは当然だが、不幸とは無関係と黙ってみている人間、不幸の根元を見抜けない人間にはなつてくれるなど願ひながら画面に入る娘の横顔を見ていた。

## 3月のこよみ

2	(土)	指	導	会	議	日
3	(日)	休	所	所	日	日
9	(土)	休	所	所	日	日
0	(日)	休	所	所	日	日
6	(土)	職	員	所	日	日
7	(日)	休	所	所	日	日
0	(水)	休	所	所	日	日
3	(土)	休	所	所	日	日
4	(日)	休	所	所	日	日
5	(月)	休	所	所	日	日
6	(火)	休	所	所	日	日
7	(水)	休	所	所	日	日
8	(木)	休	所	所	日	日
0	(土)	休	所	所	日	日
3	(日)	休	所	所	日	日
1	(日)	休	所	所	日	日

# 立志式

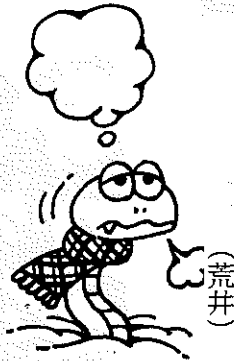
「立志」とは志を立てること。目的を定めて、これをなすことと志すこと（広辞苑より）

2月、各中学校では立志式を行ない、いろいろな企業・幼稚園や保育園・施設等々、様々な職場に別れて仕事体験をするそうです。そしてこぶし作業所にもそれぞれに志を持った中学生たちがやってきました。

1日宝木中・2日豊郷中・8日宇短大付属中と続けざまに訪れた中学生たち普段は彼ら流に言う「超ミラクルスーパ一元気（古いですか？）なんでしょうが、始めのうちは

緊張のせいか少々ひかえめなみなさんでした。それでも、作業しながら仲間に話しかけられて困っていたかと思ったり、そのうち楽しそうにおしゃべりをしていく姿も見られました。

そんな中学生たちに仲間の仕事や給料のこと、障害をもった仲間たちのおかれている状況や話を「えー！」「驚き、そのうち「なんですか？」と聞いていきました。こんなことからでも興味を持って将来の志を立ててくれれば「いい」と思った3日間でした。



（荒井）

## リサイクル班（こぶし） ピンチ アルミ缶のご協力を ゴミ袋5つ位あれば ゴミちらから伺います よろしくお願ひします

リサイクル班の主な収入源であるアルミ缶が底をついてしまいました。現在1日約1000個、月に2万個をつぶしています。皆さんのご協力をよろしくお願ひします。  
（鈴木）

# 「3日間の作業所研修を 終えて」

## 新入職員紹介

川島悦子さん

藤田さんの仕事を引き継ぐことになりました川島悦子です。さっそくこぶしまつりもありましたし、あつという間の2週間でした。仲間の顔はだいたい覚えることができましたが、まだ名前が覚えられません。みな、それぞれに個性があつて毎日楽しみます。仕事としては、ベテランの藤田さんの穴うめができるようになるには、どれだけ勉強しなければならぬかと思うと気が遠くなりますが、一日も早く一人前になれるよう努力してゆきたいと思ひます。私は、生まれも育ちも宇都宮で、現在雀の宮に住んでいます。

村山淳子さん

桜庭さんの産休代替で入った村山さんです。パイプ作業を担当し毎日頑張っています。8月までですがよろしくお願ひします。  
（川島）

栃木市蘭部町にある、共同作業所ゆうの家を指導員をしている斎藤と申します。ゆうの家は一昨年の4月に新しく開所しました。通所している仲間も、学校を卒業してすぐに入った人が多く若いメンバーです。ちなみに私も、ゆうの家の家には大学を卒業してすぐ就職したので、現在24才のバリバリヤングマンです。しかし若いので作業所の仕事をやるには、まだまだ経験が足りません。ということ、2月13日（火）5時15分（木）の3日間こぶし作業所で勉強させていただくことになりました。作業の方は、1日目にベアリング班、2日目にリサイクル班、3日目にベアリング班とかんぴょう班を見させていただきました。仲間のみんなが、いきいきと頑張っているのが印象的でした。また、

共同作業所 ゆうの家  
斎藤正治

### トピックス

△げやき編▽

まよとに  
結婚ブーム

こりやー春から縁起がいいのキャッチフレーズにのり、結婚を間近にしたお2人をさしおき、仲間が盛り上げています。「あの洋服着るの、やせるの」とダイエツト宣言をしたTさん。「帯まくの。ネックレスと花買ったの」と毎日悩んでいるMさん。「今日は結婚式？」等と毎日心配しているSくん。

△こぶし編▽

ボウリング大会  
に参加して

一足早い春の足音が聞こえます。  
（渡辺）  
県愛護協会主催の第2回施設利用者交流ボウリング大会が栃木市のニュー不二ボウルで行なわれました。こぶしから大橋さん・野中さん・松永さん・小池さんの4人が出場しました。今回の出場者は約120人と前回と比べかなり多くなりボウリング場を借り

切つてしまいました。

交流ボウリング大会といっても、上位入賞者には景品が出るのでいざゲームが始まったらみんなの表情は真剣になり、投げた度に一喜一憂したり投げ方を工夫していました。また、同じレインになった他施設の仲間がストライクをとると拍手をしたり、会話をしたりと交流を深めている光景も見られました。

（田島）

ストライクを1回出した小池さん、投げた度にボールが思う様に行かず首をひねる野中さん、スベアを4回とつてもストライクがなかったことを怒っている松永さん、1投目はガーターでもしり上がりによく101をだした大橋さん、とゲームを楽しんでいました。同じレインになった他施設の仲間たちと来年の再会を約束してボウリング場を後にしました。

こぶしの下駄箱の中板が新らしくなりペンキも塗りかえられました。永島さんありがとうございました。